



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日

東・福

上場会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス 上場取引所
 コード番号 3099 URL <https://www.imhds.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役 代表執行役社長 CEO (氏名)細谷 敏幸
 問合せ先責任者 (役職名)総務統括部 広報・IR部長 (氏名)三原 圭子 (TEL) 050-1704-0684
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	118,680	16.8	8,654	118.3	10,101	123.1	6,805	20.4
2023年3月期第1四半期	101,615	14.7	3,965	—	4,527	—	5,652	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 10,263百万円(3.2%) 2023年3月期第1四半期 9,946百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.82	17.79
2023年3月期第1四半期	14.82	14.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,211,363	560,228	45.7
2023年3月期	1,217,308	552,519	44.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 553,213百万円 2023年3月期 546,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	515,000	5.7	38,000	28.3	40,000	33.3	30,000	△7.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

総額売上高(「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の売上高)は1,155,000百万円(対前期増減率6.1%増)を予想しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	396,977,254株	2023年3月期	396,931,154株
2024年3月期1Q	15,050,051株	2023年3月期	15,048,154株
2024年3月期1Q	381,907,457株	2023年3月期1Q	381,544,312株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)が5類感染症に移行するなど、社会経済活動の正常化がより一層進みました。個人消費については、国内外からの旅行者数の増加などを背景にサービス消費を中心に持ち直しの傾向がみられました。

一方でウクライナ情勢や為替相場変動の影響により、資源・エネルギー・食料品価格が高騰するなど経済情勢の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中当社グループは、長期に目指す姿である「お客さまの暮らしを豊かにする“特別な”百貨店を中核とした小売グループ」の実現に向けて、中期経営計画(2022年度～2024年度)に着実に取り組んでおります。2023年度の営業利益については、株式会社三越伊勢丹ホールディングス発足後の最高益となる380億円を見込んでおり、当第1四半期連結累計期間においては、計画を上回って順調に推移いたしました。

国内百貨店においては、首都圏店舗を中心に大幅な増収増益となりグループ収益を牽引したほか、地域店舗についても、収支構造改革の進展などにより大幅に収益改善いたしました。顧客基盤の拡大に向けた取り組みについては、識別顧客数の増加やエムアイカード会員顧客の購買単価が向上したことにより、識別顧客売上高が順調に拡大いたしました。

またグループ関係会社についても、収支構造改革の取り組みの推進やコロナの5類感染症移行によるサービス消費の需要回復などを受け前年から大幅な増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は118,680百万円(前年同四半期比16.8%増)、営業利益は8,654百万円(前年同四半期比118.3%増)、経常利益は10,101百万円(前年同四半期比123.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,805百万円(前年同四半期比20.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①百貨店業

国内百貨店におきましては、コロナの5類感染症移行に伴う外出需要の拡大、国内旅行者や訪日外国人観光客の増加などにより、首都圏店舗を中心に入店客数が伸長し増収増益となりました。伊勢丹新宿本店、三越日本橋本店では、気温上昇もあり夏物衣料が好調だったほか、化粧品・宝飾など幅広いアイテムでの売上が大幅に伸長いたしました。特に、伊勢丹新宿本店においては外商顧客売上高の増加等により、第1四半期連結累計期間として過去最高の売上を更新したほか、三越日本橋本店についても三越創業350周年大創業祭の開催などにより売上は計画を上回って順調に拡大いたしました。

免税売上高については、ラグジュアリーブランドのハンドバック・宝飾など高額品が好調となり全店舗において前年から大幅に伸長いたしました。6月単月としては、国内百貨店計で2018年度実績を超えたほか、当第1四半期累計期間においても2018年度実績並みにまで回復いたしました。

海外事業につきましては、一部エリアにおいては消費トレンドが落ち着きつつあるものの、アセアン店舗計は好調に推移し増収増益となりました。

このセグメントにおける売上高は98,995百万円(前年同四半期比7.9%増)、営業利益は6,702百万円(前年同四半期比244.7%増)となりました。

②クレジット・金融・友の会業

クレジット・金融・友の会業におきましては、利便性の向上や金融サービスの拡充等を推進することにより、顧客基盤の拡大に取り組んでおります。

株式会社エムアイカードでは、収益拡大基調にあるグループ百貨店でのクレジットカード取扱高の伸長に加えて、航空・旅行・飲食領域を中心にグループ外での利用が拡大しました。また、委託業務の内製化等のコスト最適化を進めたことにより増収増益となりました。

このセグメントにおける売上高は7,808百万円(前年同四半期比6.0%増)、営業利益は1,106百万円(前年同四半期比3.2%増)となりました。

③不動産業

不動産業におきましては、グループが保有する国内外の不動産を最大源に活用し新たな価値創出に向けた取り組みを進めておりますが、保有物件におけるテナントの入れ替え等により賃料収入が減収となりました。

株式会社三越伊勢丹プロパティ・デザインでは、高品質な内装や家具製作を強みとする建装事業の強化に取り組んでおります。付加価値の高い提案営業により、ホテル・オフィス・商業施設などからの受注が増加したことにより前年から大幅な増収となりました。

このセグメントにおける売上高は4,991百万円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益は487百万円（前年同四半期比53.6%減）となりました。

④その他

広告業の株式会社スタジオアルタでは、主力事業の屋外広告事業が堅調に推移いたしました。また、グループ百貨店のデジタルサイネージや懸垂幕等の広告営業を統合した効果により大幅な増収増益となりました。

旅行業の株式会社三越伊勢丹ニッコウトラベルでは、三越創業350周年における国内・海外旅行企画が好調に推移したほか、海外募集型企画旅行において当社独自の欧州リパークルーズが再開したことなどにより、大幅な増収となりました。

株式会社エムアイフードスタイルでは、独自性の高いプライベートブランドを中心とする高品質な食品スーパーマーケットである「クイーンズ伊勢丹」を17店舗運営しております。新規出店として2023年10月に「クイーンズ伊勢丹 新小岩店」のオープンを予定しております。今後も、お客さまの暮らしを豊かにする上質なライフスタイルの提供を目指してまいります。なお、株式会社エムアイフードスタイルは株式の追加取得により、前第1四半期連結会計期間末から連結の範囲に含めております。

このセグメントにおける売上高は20,042百万円（前年同四半期比96.9%増）、営業利益は268百万円（前年同四半期は営業損失168百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,211,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,944百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が減少したことなどによるものです。

負債合計では651,134百万円となり、前連結会計年度末から13,653百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものです。

また、純資産は560,228百万円となり、前連結会計年度末から7,709百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと及びその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績結果および足元の業績動向を踏まえ、2024年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正しております。

2024年3月期連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	510,000	35,000	37,000	28,000	73.32
今回発表予想 (B)	515,000	38,000	40,000	30,000	78.55
増減額 (B - A)	5,000	3,000	3,000	2,000	—
増減率 (%)	1.0	8.6	8.1	7.1	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	487,407	29,606	30,017	32,377	84.82

(注) 総額売上高 (「収益認識に関する会計基準」等を適用しなかった場合の売上高) は、1,155,000百万円 (前回発表予想1,140,000百万円、増減額 15,000百万円、増減率 1.3%) を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	105,692	94,219
受取手形、売掛金及び契約資産	133,922	137,430
有価証券	859	811
商品及び製品	25,045	24,335
仕掛品	332	489
原材料及び貯蔵品	606	612
その他	25,544	26,416
貸倒引当金	△4,266	△4,240
流動資産合計	287,735	280,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	149,007	146,627
土地	528,032	528,064
その他（純額）	26,431	25,908
有形固定資産合計	703,470	700,600
無形固定資産		
ソフトウェア	17,334	17,759
のれん	10,332	10,121
その他	23,386	23,379
無形固定資産合計	51,052	51,261
投資その他の資産		
投資有価証券	120,864	125,816
その他	54,309	53,742
貸倒引当金	△181	△184
投資その他の資産合計	174,993	179,374
固定資産合計	929,517	931,236
繰延資産		
社債発行費	55	51
繰延資産合計	55	51
資産合計	1,217,308	1,211,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,802	96,630
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	26,568	16,532
コマーシャル・ペーパー	40,000	50,000
未払法人税等	4,969	3,825
商品券回収損引当金	14,523	14,520
引当金	12,911	5,939
その他	189,933	192,481
流動負債合計	403,709	389,929
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	68,300	68,300
繰延税金負債	118,027	119,185
退職給付に係る負債	33,470	33,639
引当金	22	19
持分法適用に伴う負債	3,520	3,339
その他	17,738	16,721
固定負債合計	261,079	261,204
負債合計	664,788	651,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	51,276	51,303
資本剰余金	323,609	323,636
利益剰余金	162,708	166,490
自己株式	△18,159	△18,162
株主資本合計	519,434	523,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,514	7,453
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	20,931	22,207
退職給付に係る調整累計額	237	283
その他の包括利益累計額合計	26,685	29,946
新株予約権	886	833
非支配株主持分	5,512	6,181
純資産合計	552,519	560,228
負債純資産合計	1,217,308	1,211,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	101,615	118,680
売上原価	39,456	48,008
売上総利益	62,159	70,672
販売費及び一般管理費	58,194	62,017
営業利益	3,965	8,654
営業外収益		
受取利息	80	110
受取配当金	259	288
持分法による投資利益	907	1,575
その他	382	330
営業外収益合計	1,630	2,305
営業外費用		
支払利息	189	201
固定資産除却損	214	146
その他	664	511
営業外費用合計	1,068	859
経常利益	4,527	10,101
特別利益		
段階取得に係る差益	3,810	—
特別利益合計	3,810	—
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	23	—
特別損失合計	23	—
税金等調整前四半期純利益	8,314	10,101
法人税等	2,663	3,221
四半期純利益	5,650	6,880
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,652	6,805

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	5,650	6,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	2,120
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	1,225	359
退職給付に係る調整額	62	46
持分法適用会社に対する持分相当額	2,833	857
その他の包括利益合計	4,295	3,383
四半期包括利益	9,946	10,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,607	10,066
非支配株主に係る四半期包括利益	338	196

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・ 友の会業	不動産業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,253	4,469	3,688	99,411	2,203	101,615	—	101,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	526	2,895	611	4,033	7,976	12,010	△12,010	—
計	91,780	7,365	4,299	103,445	10,179	113,625	△12,010	101,615
セグメント利益又は損失 (△)	1,944	1,072	1,051	4,067	△168	3,899	65	3,965

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業、旅行業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額65百万円は、セグメント間取引消去、未実現利益等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、株式会社エムアイフードスタイル株式を追加取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「その他」のセグメント資産が23,275百万円増加しております。なお、当該セグメント資産の金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額により開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、株式会社エムアイフードスタイルの株式を追加取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが10,965百万円発生しております。なお、当該のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額により開示しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	不動産業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	98,358	4,709	4,440	107,509	11,171	118,680	—	118,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	636	3,099	550	4,286	8,871	13,157	△13,157	—
計	98,995	7,808	4,991	111,795	20,042	131,838	△13,157	118,680
セグメント利益	6,702	1,106	487	8,296	268	8,564	90	8,654

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業、旅行業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額90百万円は、セグメント間取引消去、未実現利益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。